



子供たちのための自然体験の場づくり 「水辺の楽校」が完成しました

吉野川環境整備事業



木製階段デッキ

五條市の北部を流れる吉野川。以前は釣り人や漁師でにぎわい、夏には水泳を楽しむ子供たちであふれ、水泳王国五條をはぐくみました。しかし近年、川の汚れや水量の減少により、川は市民の意識の中から消え、子供たちにとっては、川へ近づくことさえ危険であるといった考え方が広がっていきました。

こういった状況を打開しようと国や県・市・地域住民で、子供たちが安心して遊べ、学習できる環境をつくろうと「水辺の楽校」整備が進められてきました。

「水辺の楽校」とは、川を身近な自然教育の場として活用し、川を核にした地域社会の中で心身共にたくましい子供に育てていこうというプロジェクトで、市民やボランティア団体が中心となって、国土交通省の支援を得てソフト・ハード両面において進める活動です。現在全国で約220か所が登録されています。「吉野川水辺の楽校」もその一つで、平成10年6月に登録されました。



展望台